

高齢者の介護や、虐待された子供の支援に当たる人々の働きを通し、支援を受ける者と与える者が、同じ目線で出会い、喜びと悲しみを共有する道を探ります。

# 希望の介護—認知症を考える 「中島塾」によるこそ

講師 中島 健二 (京都府立医科大学名誉教授、神経内科医師)

テレビや新聞は連日のように認知症について報道しています。認知症患者が現在500万人、10年後には800万人になるといわれているからです。

私はかつて高齢者介護の現場で働き、認知症患者さんに日々接していましたが、その時、医療・介護スタッフの教育の重要性に気付きました。そこで認知症の勉強会『中島塾』が生まれ、そこから紬ぎ出されたのが、先ごろ刊行された「希望の介護—認知症を考える『中島塾』によるこそ」です。

『中島塾』では認知症の診断や治療だけではなく、認知症高齢者の人権・尊厳、古代から現代までの認知症の歴史とその対応などを語り合いました。

介護は今や質が求められる時代になりました。それには医療・介護に従事するスタッフの人間性の涵養、換言すれば「人づくり」が求められています。

本日は『中島塾』をご紹介しますが、高齢者とくに認知症を持つ高齢者のダイナミズム、認知症の人に日々接するご家族の思いに触れていただきたいと思います。(中島健二)

日時 2015年 7月11日 (土) 13:30~17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300円、学生 1,000円 (コーヒー込み)

\*7月8日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。



中島 健二 なかじま けんじ

1939年東京都出身。京都府立医科大学卒業。同大学院修了(精神医学専攻)。精神科医、脳神経外科医を経て神経内科医に転じた。1990年~2002年：京都府立医科大学神経内科・老年内科学教室教授。

著書に「痴呆症-基礎と臨床の最前線」(金芳堂)、「この日本で老いる」(世界思想社)、「脳卒中は防げる治せる」(講談社)、「家族のための<認知症>入門」(PHP新書)等がある。今年4月、「希望の介護—認知症を考える『中島塾』によるこそ」(書肆クラルテ)を上梓した。

- ◎スケジュール◎
- 13:30～15:00 挨拶・講師紹介  
講演・発題
- 15:00～15:30 コーヒーブレイク
- 15:30～17:20 質疑とはなしあい
- 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



## 2015年度 修学院フォーラム

### 「福祉」

第2回 11月14日(土)「子どもたちに寄り添う」  
講師：坪井 節子 (カリヨン子どもセンター理事長)

### 「いのち」

第2回 9月26日(土)「赤ちゃんがほしい！不妊治療の進歩は、本当に女性に恩恵を与えているでしょうか～産科医の立場から」  
講師：川北 かおり (西神戸医療センター産婦人科医長、周産期センター長代行)

### 「社会」

第1回 2016年1月10日(日)～11日(月祝)「核に依存しない世界に向けて」  
「東北の被災地からの訴え」講師：川上 直哉 (東北ヘルプ事務局長)  
「核に依存しない社会の構築」講師：飯田 哲也 (環境エネルギー政策研究所所長)

第2回 2016年1月30日(土)「日本の政治とキリスト教(仮)」講師：佐藤優 (文筆家)

### 【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
関西セミナーハウス活動センター  
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
<http://www.academy-kansai.org>  
電話 075-711-2117 (直)  
FAX 075-701-5256  
電子メール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)  
所長代行 榎本 栄次  
担当 都木かおり



\* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

### 2015年度 修学院フォーラム「福祉」第1回 参加申込書

|               |                  |
|---------------|------------------|
| (フリガナ)<br>名 前 | 所 属              |
| 住 所 〒         |                  |
| 電話 ( ) - ( )  | FAX ( ) - 携帯 ( ) |
| 電子メール :       | @                |
| 通信欄 :         |                  |